

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 14 日

事業名称		職員福利厚生事業費 [職員互助会補助事業]						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費	事業番号 5	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	職員課		課	給与厚生	係	課長名	岩本 尚史	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					総合計画書(ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	正規職員・再任用職員 →			正規職員・再任用職員の数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
地方公務員法第42条「地方公共団体は、職員の保健、元気回復その他厚生に関する事項について計画を樹立し、これを実施しなければならない。」に基づき、職員を元気回復する。 →			職員互助会実施事業のうち補助金による福利厚生事業を利用した延べ件数					
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
職員互助会に対して、職員数に単価を乗じた補助金を交付した。 職員互助会は、市から交付を受けた補助金、職員からの会費その他収入にて職員への福利厚生事業を行った。			職員1人当たり8400円の補助金を交付した。 8400円×491人=4,124,400円 (特別会計分を含む)					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	人	500	501	491		
	成果指標	②の数値	件	673	999	999		
	目 標	②の目標値	人	500	501	491	500	500
		目標値設定の考え方 全職員が福利厚生事業を少なくとも1回利用する。						
		活動指標	③の数値	円	4,250,400	4,208,400	4,124,400	
3 経費	事業費(実績)		円	4,250,400	4,208,400	4,124,400	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	4,250,400	4,208,400	4,124,400		
		特定財源	円					
	(うち受益者負担)		円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1		
		所要人数(再任用)	人					
職員人件費(再任用以外)		円	824,400	838,000	825,000			
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	5,074,800	5,046,400	4,949,400			
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成5 年度					
	(2) 環境の変化		地方公務員法第42条「地方公共団体は、職員の保健、元気回復その他厚生に関する事項について計画を樹立し、これを実施しなければならない。」に基づき義務として実施している福利厚生業務。 平成5年度から職員互助会を条例化している。					

事業名称	職員福利厚生事業費 [職員互助会補助事業]			
担当部署・課長名	職員課	課	給与厚生係	課長名 岩本 尚史

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（2）を転記）			
	職員皆が公平に元気回復できるよう継続的に事業の見直しを継続していく。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
	職員に対して、職員互助会事業の周知を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員（正職員）にマスクを配布した。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
<ul style="list-style-type: none"> 職員互助会事業の周知は引き続き行う。 利用していない職員は職員互助会事業のことを把握していない恐れがあることから、年末を目前に個別に制度周知を行う。 				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】			
<ul style="list-style-type: none"> すべての職員の元気回復が行えるよう、職員互助会事業の周知を丁寧に行う。 より職員の元気回復がはかれるような事業があるか、他市の実施状況などを勘案し研究する。 				
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				